

ロタウイルスワクチン接種上の注意

(ロタテック、ロタリックス)

ロタウイルスワクチンはロタウイルス胃腸炎の重症化を抑える効果が認められているワクチンです。

接種時期 生後6週から接種できます

ロタテック (6週～32週) 4週間隔で3回 生後24週までに1回目を接種する必要があります

ロタリックス (6週～24週) 4週間隔で2回 生後20週までに1回目を接種する必要があります

※初回投与が生後14週6日を過ぎると腸重積の頻度がさらに増加する可能性がありますのでご注意ください。

どちらも臨床効果に差はほとんどありません。

当院での接種費用の合計はロタリックス25000円>ロタテック24000円ですが

ロタリックスの方が接種回数が1回少ないため受診回数が少なくて済みます。

ワクチン接種後1週間程度は便中にワクチン由来のウイルスが排泄されます
念のためおむつを交換した後には手洗いをするなど注意して下さい。

※排泄されたウイルスによって胃腸炎を発症する可能性は低いといわれています

接種後すぐに吐き出した場合でも追加接種する必要はありません。

(吐き出した場合もワクチンの有効性が確認されています)

副反応にご注意下さい

接種後に下痢、嘔吐、胃腸炎、発熱などがみられることがあります。

特に腸重積症の頻度が増加する可能性が示唆されています。1～2万に

1例の頻度で腸重積が発症するといわれています。ワクチン接種後とく

に1週間以内の繰り返す嘔吐、血便等は、腸重積の可能性あります。

このような場合早めに医療機関を受診するようにしましょう。

腸重積症の症状にご注意下さい

接種後に次のような症状がみられた場合は、家庭で様子をみて症状を長引かせないよう、速やかに医師の診察*を受けるようにしてください。

- ぐったりする(不機嫌)
- 泣きと不機嫌を繰り返す
- 顔色が悪い
- 繰り返し起きるおう吐
- イチゴジャムのような血便
- お腹のはり

